宮島フェリーで火災発生！その時、命を守るために。

JR西日本宮島フェリー㈱が「異常時総合対応訓練」を行いました

年の暮れも近づく１２月３日（月）、JR西日本宮島フェリー（株）が、カーフェリー「みやじま丸（２５４トン）」で航行中に機関室火災が発生したとの想定のもと、宮島沖で下記４項目の総合対応訓練を行いました。

１．情報伝達訓練、みやじま丸乗組員による初期対応訓練

２．乗客（負傷者、交通弱者を含む）避難誘導並びに搬送訓練

３．消火ホースによる放水訓練

４．JR宮島フェリー陸上社員による救済訓練

あいにくの雨模様となりましたが、関係機関１０者、船艇４艇が参加する大がかりな訓練となりました。

「火災発生！」

真剣な表情の中国運輸局運航労務監理官

当訓練は、昨年１月に発生した「ななうら丸（２６８トン）」運航阻害（操縦不能）事故の際、旅客に心配と不安をかけたとの反省から、ＪＲ西日本宮島フェリー（株）が今年３月に作成した「異常時対応マニュアル」に基づき行われました。

避難誘導訓練では、「みやじま丸」船長の「ご安心ください」などの肉声に加えて、宮島への外国人観光客の増加が著しい現状をふまえ、四か国語（日英中韓）で船内放送を流す場面もありました。

初期消火から本格消火への移行、関係機関への通報、負傷者・旅客の救助艇（巡視艇あきかぜ、第三御笠丸）への移乗など、参加機関が連携をとり非常時の対応を確認しました。なお、当訓練は関係事業者が一丸となって行う好事例（ベストプラクティス）として、国交省ＨＰへの掲載が検討されています。

（右）放水訓練／船では海水を汲み上げて放水します
（左上）救命胴衣の着用を指導する「みやじま丸」乗組員
（左下）消防隊員の介助のもと救援船に乗り移る乗客

訓練参加艇（左から）：「第三御笠丸（アクアネット広島）」　「消防艇もみじ（宮島消防署）」　「みやじま丸」　「巡視艇あきかぜ（広島海上保安部）」

お問い合わせは　中国運輸局 海上安全環境部 運航労務監理官まで　TEL：０８２－２２８－８７０８